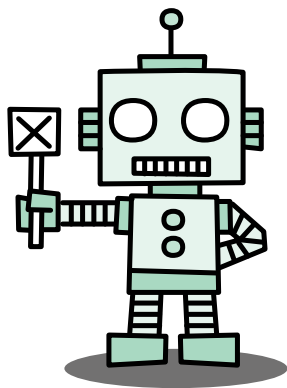


10年先も生き残る職業の予測に「セラピスト」も！

今後、10年以内に消える職業にはどんなものがあるのでしょうか？ そして、10年先も生き残る職業にはどんなものがあるのでしょうか？

2015年にAI（人工知能）の研究者であるオックスフォード大学准教授のマイケル・A・オズボーン氏が、同大学のカール・ベネダイクト・フライ研究员とともに著した『雇用の未来〜コンピュータ化によって仕事は失われるのか』で発表した論文は、世界に衝撃を与えました。なぜなら、AI分野の発展に伴い、今存在している職業のうちの一部は消えてしまうというセンセーショナルな内容だったからです。

皆さんもニュース等で見聞きしたのではないのでしょうか？ 消えていってしまう職業の



モウ：
ニンゲンハ
イリマセン：

10年後、人工知能に置き換わる職種がある。しかし、セラピスト（に分類される職種）は生き残るという予測！

中に、自分自身の職業や、自分に関係ある職業が含まれていないかと、探してみた人もいうことでしょう。

「10年以内に消える職業」についてはメディアでよく取り上げられましたが、一方で「10年先も生き残る職業」についてはあまり話題になりませんでした。実は、「生き残る職業」の中に対人援助職として、いわゆるセラピストといわれる職種が複数挙げられていたことはあまり知られていません。

私は偶然その記事を目にし、それをセラピストたちに伝えたところ、皆一様に喜んでいました。それはそうですよ。自分の携わる職種が10年先も生き残るだろうと専門家からお墨付きをもらったようなものですから。私自身もとてもうれしかったですし、正直ホッと胸を撫で下ろしました。

ただ、私にはもう一つ、心の中に浮かんできた複雑な思いがありました。
「これって、すべてのセラピストに当てはまるわけではないな」